



# チリリン・タイム 指導者解説

指導を受ける対象者の年齢、理解度などに  
応じた内容でご指導をお願いします。



## 今月の指導内容

### 「交差点での右左折方法」

#### 目標

交差点を通行するときのルールを理解させる。

#### 指導過程

段階	流れ	指導上の留意点
導入	質問	交差点で、右や左に曲がる時はどのようにしているか1～2人に質問する。
展開	自転車乗車時の心得	交差点では、正しい方法で右折または左折しなければならないことを理解させましょう。また、信号機がある場合とない場合の右折方法が異なるほか、左折の際は特に、自動車に巻き込まれる危険性があることを十分理解させましょう。
まとめ		自転車の交差点での正しい通行方法を理解させ、自転車も車と同じように定められたルールがあることを指導しましょう。

## 指導内容・指導上の留意点

指導目標	指導対象	指導内容
交差点を通行するときのルールを理解させる	小学生・中学生・高校生	<p><b>右折の仕方</b></p> <p>【信号機等により、交通整理の行われている交差点】          前方の信号に従い、十分速度を落として、道路の左側に沿って、<b>向こう側の角まで直進</b>します。          角の手前で後方の安全を確かめ(停止の合図を行い)、いったん止まり、その地点で<b>自転車から降りて、自転車の向きを右に変え</b>ます。          前方の信号が青になったら周囲の安全を確かめ、交差点の左端に沿ってゆっくり進みます。          *自動車は、赤信号であっても青の矢印の信号に従って右折できる場合がありますが、<u>自転車は進むことができません</u>ので、あわせて指導しましょう。</p> <p>【交通整理の行われていない交差点】          後方の安全を確かめ(早めに右折の合図を行い)、できるだけ道路の左端に寄って、交差点の向こう側までまっすぐ進み、後方の安全を確かめて十分速度を落として曲がります(最短距離をショートカットせずに、大回り右折をします)。          *通行する車が多くて危険な場合など必要に応じて、信号機のある交差点の右折と同じように、交差点の向こう側でいったん止まりましょう。</p> <p><b>左折の仕方</b></p> <p>左折をするときは、後方の安全を確かめ(早めに左折の合図を行い)、できるだけ道路の左端に沿って十分速度を落とし、横断中の歩行者の通行を妨げないように注意して曲がらなければなりません。</p> <p><b>交差点での注意</b></p> <p>交差点では、直進・左折・右折のいずれの場合でも、後方から左折する車に巻き込まれる危険があることを指導しましょう。          このような時は、後方の安全を確かめ、交差点の相当手前で一時停止し、車を左折させてから発進するなど、左折する車に巻き込まれないように注意しましょう。また、大型車の左側は、運転者から見えにくいので、大型車の左側に並んで一時停止することは、非常に危険です。</p> <p><b>安全確認と合図</b></p> <p>道路交通法には、停止や右左折をするときは、合図をしなければならないと規定されています。合図を覚えて、必ず安全を確かめたのち、早めに正しく合図を行いましょう。</p> <div data-bbox="1034 1912 1449 2123" data-label="Image"> <p>手による合図の方法</p> <p>停止      左折      右折</p> </div>

